

わ く わ く

9月号

本 だ な

1 2 3 年



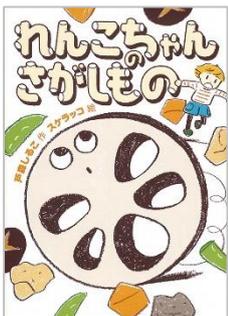
E 『 <sup>そら</sup>空と<sup>うま</sup>ぶ馬と<sup>しちにん</sup>七人のきょうだい <sup>ほくとしちせい</sup>モンゴルの北斗七星のお話 <sup>はなし</sup> 』  
 イチノロブ・ガンバートル／文 バーサンスレン・ボロルマー／絵  
 津田紀子／訳 廣濟堂あかつき  
 モンゴルのそうげんに、うつくしい7人のおうじよさまがいました。  
 あるひ、おうじよたちが、とりのおう・ハンガリドにつれさられてしま  
 います。おうさまは、そうげんでいちばんかしこいおじいさんの7人  
 のむすこたちに、おうじよたちをたすけるよいいました。

えほん

K913 『 しんぱいせんせい 』

北川チハル／作 大野八生／絵 佼成出版社  
 たつやのたんになのせんせいは、いつも「だいじょうぶかいなあ」としんぱいばかりしています。たつやは、そんなせんせいのことがすこしにがてでした。みんなでえんそくにいったひ、かさをなくしたせんせいに、たつやはおもいきってこえをかけました。

ものがたり



K913 『 れんこちゃんのさがしもの 』

戸森しるこ／作 スケラッコ／絵 福音館書店  
 れおくんは、りょうりがだいすき。今日のメニューは、れんこんのもの  
 のにものです。れおくんがれんこんをきると、ふしぎなことに、れん  
 こんがしゃべりだしました。しかも、「にものになるのはいやっ」とい  
 って、にげだしてしまつたのです。

ものがたり

E 『 ひとつくつたどうぶつ<sup>みち</sup>の道 』

キムファン／文 堀川理万子／絵 ほるぷ出版  
 もりにすむどうぶつは、なかまやえさをさがすために、道<sup>みち</sup>をわた  
 ろうとして、くるまにひかれてしまうことがあります。  
 じこにあうどうぶつをへらすために、にんげんたちがちえをだし  
 あい、とくべつな道をつくりました。

ちしきのほん



わ く わ く

9月号



本 だ な

4 5 6 年



物語

K913 『 トムと3時の小人 』

たかどのほうこ／作 平澤朋子／絵 ポプラ社  
つとむは、古道具屋で『トムと3時の小人〈下〉』とかいてある赤い本を見かけます。図書館に行ってみると、同じ題名の青い本がありました。それはトムという男の子と、はと時計の中に住むいたずら好きの小人のお話でした。

つとむは、古道具屋にあった赤い本も読んでみたいと思い、お店に向かいます。するとそこで、ふしぎなことがおこったのです。

K913 『 月にトンジル 』

佐藤まどか／作 佐藤真紀子／絵 あかね書房  
トール、ダイキ、シュン、マチは、小さいときから「テツヨン」とよびあう仲良し4人組です。ところが、ダイキが遠い町に引っこしてしまいました。トールは「テツヨン」の友情はかわらないと信じていましたが、残った3人も、だんだんいっしょに集まるのが少なくなっていきます。ダイキが遊びに帰ってきた日、ついにトールたちはおおげんかをしてしまいました。

物語



ちしきの本

K664 『 くじらの子 』

石川梵／写真と文 宮本麗／写真 少年写真新聞社  
エーメンが住むインドネシアの村では、400年にもわたってくじら漁がおこなわれています。この村では作物がじゅうぶんに育たないので、まずしいひとにも全員に食べ物がいきわたるように、大きなくじらをねらうのです。

くじら漁の季節になり、エーメンのお父さんたちは手作りのふねにのりこんで、海へと出発しました。

図書館のまどぐちには、くみだてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200